

学びの共同体 交通安全キャンペーン



9月27日(金)、大留駐在所前の国道で、上ノ国小学校・中学校・高校の児童生徒26名が交通安全運動を行いました。

街頭啓発に先立ち、児童生徒を代表して上ノ国中学校3年生の佐々木しずくさんが「ドライバーに安全運転を呼びかけ、自分たちも安全に気をつけて、元気に取り組みましょう。」と意気込みを語りました。

児童生徒たちは、警察官が国道沿いに停止させた自動車のドライバーに、交通安全を心がけてほしいと呼びかけました。



響く音色に心躍らせよう クラシックミニコンサート

9月28日(土)、ジョイ・じよぐらで、J・POWER主催のふれあいミニコンサートが開催され、来場者はプロの演奏するクラシック音楽を堪能しました。

J・POWERでは、社会貢献活動の一環として全国でコンサートを開催しており、上ノ国町では10年ぶり2回目の開催となりました。

定番のクラシック音楽のほか、映画の主題歌や楽器の紹介、ドレミの歌に乗せた手遊びなど、誰もが楽しめるひとときでした。秋の夜長に美しい音色が響く、心温まる時間となりました。



介護職の真の役割を知る スキルアップ研修会

9月30日(月)、健康づくりセンターにて、令和6年度上ノ国町介護従事者等スキルアップ研修会が開催され、55名が参加しました。

この研修会は、高齢者の生活・人生を支える介護職の存在意義や価値を見出し、モチベーションに繋げることを目的としたものです。

昨年に続き、医療介護事業コンサルタントの袖山卓也氏が講師となり、『介護の極みに見える景色』と題して介護の役割や考え方などが経験談を交えて講演されました。

参加者はメモをとりながら真剣に話を聞き、自分自身を見つめ直していました。



おいしい魚を堪能する 食欲の秋



10月8日(火)、上ノ国保育所では『さかなの日』として、子どもたちが魚に触れ、秋の味覚を堪能しました。

今回用意された魚はサケとサンマで、興味津々の子どもたちは触れたり持ったりしたあと、「気持ちよかった!」「すごい...!」と楽しそうに話していました。

また、サケの解体ショーが始まると、子どもたちは「うわー!」「かわいそう!」と終始大興奮しながら見つめていました。

お昼ごはんには炭火で焼いたサンマが振る舞われ、みんなでおいしそうに頬張っていました。

